（様式Ａ３判）

令和５年度　学　校　自　己　評　価　シ　ー　ト

学校名　桜丘中学校・高等学校

「教育目標」	【スクールミッション】学校生活・寮活動を通じて、人格を陶冶し、社会で輝く人物を育成する （グラデュエーション・ポリシー：**育てたい人物像**）日本のパブリックスクールを目指し、グローバルリーダーを育成する。医進メディカルスクールの充実を図り、高い倫理・学力を持つ生徒を育成する。 （カリキュラム・ポリシー：**教育活動**）知的創造・ハークネス・授業改善による主体的対話的深い学びに取り組む。寮学習の体制強化、寮担任教科の連携強化、寮委員会のプロジェクト化。 （アドミッション・ポリシー：**求める生徒像**）本校が育成すを目指す人物像を自己目標としつつ、正しい倫理観・時代が求める力・文化芸術知性感性を身に付け正しい生活習慣を実践できる生徒。

評価領域	目標及び実績							行動プロセス	学校自己評価			
	当初申告			達成状況申告		※修正申告			所見・特記事項		※修正評価	
	困難度	今年度の目標	方策 （目標達成に向けた具体的な手順や時期等）	目標の達成状況・方策の取組状況 次年度への課題	達成度	修正内容	達成度	行動プロセスに関する着眼点	（評価の理由を記するとともに、特筆すべき実践がある場合はその事実を記入する）	評価	修正理由	評価
Ⅰ 教科指導等 指導計画の作成・改善 学習指導と評価		○学習への取組み（学習習慣の定着） ○各種検定に合格するよう取り組む。 ○大学入試改革に伴う入試研究（校外研修を含めた授業研究） ○大学合格目標 以上については学力強化チームを中心に行動を進める	○第１段階の学習：中等部を対象に、寮で各自が自己学習出来る様各教科担任、寮監と各クラス担任が連携して指導・管理し、学習習慣の定着を図る。 ○第２段階の学習：高等部を中心に生徒の学習状況を把握するため「学習状況報告会」を設置して情報交換を行い、４・５・６学年を通した指導方法を検討する。生徒が寮学習に積極的に取り組めるよう支援する。 ○第３段階の学習：希望する大学の入試傾向を掴み、教科指導・小論文対策指導に当たる。 ○ハークネステーブル。知的創造プログラムの取り組みを通して主体性な思考力が身につくよう、授業研修・授業研修に努める。	デイリーテスト・ハーフタイムの取り組み・寮学習や小テストの状況を把握し、学習習慣の定着に努めた。 各種検定への取り組みは、事前に計画的に取り組み、生徒の状況に応じた検定への挑戦に取り組めた。 教科指導・小論文対策に進路指導部・６年生（高校３年）学年団中心に取り組みをすすめ、大学受験へのサポートをすすめることが出来た。 ハークネステーブル・知的創造プログラムでは、中学卒業論文・４年生（高校１年）ポスターセッション等成果が見られ、目標に沿って取り組むことができた。 令和７年度入試ではより一層成果が出るよう、情報収集に努めたい。	B			**・生徒一人一人の学習状況を把握し、HR・ハーフタイム・寮学習の機会を通して、生徒の学力向上・検定取得のための取り組みを行っている。** ・生徒の実態や教科・科目等の系統性を踏まえた年間指導計画等を作成し、常に教材研究に努めている。 ・学習指導要領を踏まえ、適切な指導目標を設定している。 ・生徒の実態に即した指導が行われ、学習状況の把握、支援などが適切である。 ・教科・科目に関する専門的知識・技能が発揮され、生徒の理解を促進している。	教員のひとりひとりのマンパワーに頼ることなく、ベテラン教員の手法と若手教員の意欲を融合させ、より効果的な指導が展開されることを望む。	B		
		■中間報告　[進行状況の整理・目標の修正等] 学習委員会を開催し、学習の取組の中間検証・寮学習小テストの成果の検証に取り組み、不断の検証と改善につとめている。										
Ⅱ 学年・ ＨＲ経営 寮指導		○基本的生活習慣の確立（問題行動の防止） ○安全・安心な寮生活の施設整備・充実を図る（環境を大切にする意識の啓発） ○進路希望の実現（６年間を見通したキャリア教育の推進）	○生徒に基本的生活習慣や規範意識を身に付けさせるよう、寮監・正副担任・生徒指導及び人権担当が緊密な情報交換を取り、指導に当たる。寮委員会のプロジェクト化を推進しリーダー育成を図る。 ○美化委員会を中心に施設・設備の利用の在り方等を考えさせ、清掃活動に対する啓発を徹底する。 ○学級担任と連携しながら、面談などを通して生徒への適切なアドバイスを行うとともに、進学ゼミや進学セミナー等の充実を図る。	正副担任・寮監とともに生徒の委員会活動を活発にすすめ、基本的な生活習慣や規範意識の醸成に努めることができた。 生徒委員会活動を活性し、環境美化をはじめ様々な日常生活での課題に取り組み、基本的な生活習慣に取り組む努力ができた。 教員間の生徒の状況交換により、指導の共通性を図る必要がある。	B			**・学校・学年行事等を通じて、生徒の自主性・自律性育成やリーダー育成に取り組んでいる** ・諸会議を実施し、教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・教育相談的な対応に心がけ、生徒理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・生徒の実態に応じ、進路選択ができるよう適切に支援している。 ・保護者との情報共有ならびに地域や様々な実施主体と連携して、指導している。	生徒の成功体験・帰属意識を高める活動をすすめ、ひとりひとりの居場所づくり・仲間づくりに取り組む必要がある。	B		
		■中間報告　[進行状況の整理・目標の修正等] 様々な生活課題を持つ生徒が増加傾向にあるため、担任と寮担当の情報共有を通した指導の徹底を進めている。学習習慣（自学自習）を身に付けさせるため、担任と教科担任、寮担当者の連携により取り組み強化を図るとともに、定例の学習委員会等での情報共有と学習の在り方等について協議し改善を図っている。										
Ⅲ その他の 校務等 校務分掌等		○教職員の人権意識の啓発と生徒への人権教育の充実を図る ○保健指導の充実 ○防災・危機管理の徹底 ○保護者・地域等との連携を図り、情報公開を進める	○校内研修及び校外研修等への積極的な参加により教職員の人権に士気高揚を図る。 ○学校生活・寮生活で体調不良や心のケアを要する生徒について、養護教諭と教員との連携強化を図る。 ○学校防災計画に沿って、防災訓練や寮での避難訓練を実施し、避難方法等の周知徹底を図る。 ○生徒の出身地域単位の保護者会に出席し、情報提供や意見交換を積極的に行うとともに、部活動を中心に地域との交流を図る。また、ＨＰを充実させ、情報提供を進め開かれた学校づくりを図る。	校内外の研修の機会や日ごろの業務（OJT）をとおして、教職員の意識の向上・技能を高めることが出来た。 担任・寮監の連携強化により生徒の心のケアーに努めた。 生徒の出身地域ごとの保護者会に参加し、情報共有・意見交換に取り組んだ。 HP やインスタグラム等による情報発信を定期的に取り組んだ。 保護者が遠隔のため、さらに学校の様子など情報発信に努める必要がある。	B			**・教育に携わる者として、高い自覚を持ち、法令順守・コンプライアンスの徹底や公正を重んじた行動に努めている。** ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、職員間の共通認識を積極的に果たし、責任感を持って適切な活動に取り組んでいる。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者ならびに地域や様々な実施主体と連携し、開かれた学校づくりを推進している。	各部署・担任団などでの情報共有や合意形成が必要である。	B		
		■中間報告　[進行状況の整理・目標の修正等] 概ね目標達成に向け取り組みは行われているが、体調不良を訴える生徒が多く、担任と寮監の連携が必要。										

教員のチームワーク行動（段階にＡＢＣを記入）	１学期（Ⅰ段階） チームワーク行動に関する着眼点	評価	２学期（Ⅱ段階） チームワーク行動に関する着眼点	評価	総括（Ⅲ段階） チームワーク行動に関する着眼点	評価	チームワーク行動における重点項目その他の取組状況	評価
	相手の立場や気持ちを理解し、日常的に円滑なコミュニケーションを取っている	C	生徒の状況や校務に関わる情報を共有し、積極的にコミュニケーションを取っている	B	チームの取組等を他の教職員や保護者等に発信するなど、信頼関係づくりを推進している	B		
	学校経営の部分で、諸会議や職務遂行において、他の教職員の意見に耳を傾け積極的に協力して取り組んでいる	B	諸会議や職務遂行において、提案や改善に努め、意欲を持って主体的に取り組んでいる	C	諸会議や職務遂行において、進んで合意形成を図りながら、職務を円滑に遂行している	C		
	教育活動等の経験を継承するため、他の教職員から積極的に学ぼうとし、また教科間・分掌間で連携した取り組みを進めている	B	チームで協力して教育活動等の経験の蓄積に取り組んでいる	B	教育活動等の経験を伝承するため、他の教職員に対して進んで支援・助言を行っている	B		
	直接担当する業務以外でも、気付いたことがあれば積極的に行動している	B	管理職や他の教職員、保護者等と協力・協働し、チームワークづくりを推進している	B	広い視野から取組状況等を分析し、中長期的な視点で課題や対応方針を考えて行動している	B		